

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	博物館機能強化のための支援事業		担当部局庁	文化庁		作成責任者	
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	令和4年度	担当課室	企画調整課	課長 寺本恒昌	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	教育基本法 第12条 社会教育法 第3条 博物館法 第3条、文化観光推進法		関係する 計画、通知等	文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)			
政策	12 文化芸術の振興		主要経費	その他の事項経費			
施策	12-4 文化芸術を推進するプラットフォームの形成						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_12-4.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	文化審議会博物館部会において「これからの博物館に求められる役割」(5つの方向性)が提示され、これまで博物館が担ってきた基本的な役割とともに、新たに社会的・地域的な課題への対応と、持続可能な経営基盤の確立の必要性が示された。これを踏まえた改正博物館法の施行を見据えて、本事業では博物館に求められる新たな役割に対応するための先進的な取組を促進する。						
現状・課題 (5行程度以内)	博物館法の施行から70年が経過し、文化芸術基本法や文化観光推進法等の施行、文化財保護法の改正、国際博物館会議(ICOM)などにおける国際的な動向、デジタル化や新型コロナウイルス感染症への対応等を踏まえ、博物館法が担うべき役割・機能も、大きく変化している。すなわち、博物館は、貴重な資料を収集・保管し、公開・教育普及を行い、調査研究をしていくという、従来からの基本的役割の充実はもとより、それぞれの目的や使命に応じ、個々の特色を活かしながら、多様化・高度化した新たな役割を担うことが期待されている。						
事業概要 (5行程度以内)	①地域と共働した創造活動支援事業(定額補助) 美術館・歴史博物館が地域文化の核となって地域文化の発信、子供・若者・障がい者・高齢者が参加できるプログラム、学校教育との連携によるアウトリーチ活動等の支援を行う。 ②博物館の専門人材の養成等 学芸員等を対象とした専門的・実務的な知識・技術に関する研修を行うとともに、知識・技術の修得及び調査を目的とした海外の博物館への派遣を実施する。また、学芸員資格の認定に係る試験及び審査を実施する。 【本事業は令和3年度で事業を終了し、令和4年度以降は「博物館機能強化の推進」に移行するもの。】						
事業概要URL	https://www.bunka.go.jp/seisaku/bijutsukan_hakubutsukan/shien/bunkacluster/						
実施方法	補助、その他						
補助率等	定額						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	436	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	25	28	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	▲ 28	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	433	28	-	-
		執行額(G)	-	307	20	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	71%	71%	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	70%	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)						
	(目)						
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)	博物館が核となって、他者との連携により実施する地域文化の発信や、子供や高齢者等あらゆる者が参加できるプログラム、学校教育等との連携によるアウトリーチ活動、新たな機能の創造等を支援する。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	補助対象事業を40程度確保する	補助対象事業を実施する実行委員会数	活動実績	館	-	59	-	-	-	
			当初見込み	館	-	40	-	-	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) 事業が終了するため									
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 3 年度		
	全国の博物館における「民間社会教育事業者との連携・協力状況」について、前回調査時の実績以上の事業数を旨す。	事業の企画・実施に当たって、民間社会教育事業者と連携・協力した事業の件数(成果実績については中間報告集計結果による)	成果実績	館	-	393	-	393		
			目標値	館	-	562	-	562		
			達成度	%	-	69.9	-	69.9		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	社会教育統計博物館調査(博物館)及び(博物館類似施設)									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
	事業が終了するため									

活動内容② (アクティビティ)		学芸員等を対象とした専門的・実務的な知識・技術に関する研修を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		研修受講者を毎年150名程度確保する。	研修の受講者数	活動実績	人	-	177	-	-	-
当初見込み	人			-	150	-	-	-		
↓		成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		事業が終了するため						
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 3 年度	
		研修受講者等のうち、研修満足度について最も高い評価をつけた者の割合を60%以上にする	研修受講者のうち、研修満足度について最も高い評価をつけた者の割合	成果実績	%	-	64.9	-	64.9	
				目標値	%	-	60	-	60	
達成度	%			-	108.2	-	108.2			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		研修終了後のアンケート								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等		事業が終了するため								
		名称								
		URL								
		該当箇所								

〔
 ・諸謝金 3百万円
 ・委員等旅費 0.8百万円
 ・職員旅費 0.2百万円
 を含む
 〕

文化庁
 436百万円

【補助金等交付】

A. 地域と共働した博物館
 創造活動支援

3団体 20百万円

〔
 R3年度事業
 の
 事故繰り越し
 〕

資金の流れ
 (資金の受け取り先が
 何を行っているかにつ
 いて補足する)
 (単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金
 額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と
 使途の双方で実情が分
 かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	博物館を含む実行委員会への支援	20			
計		20	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	スポーツミュージアムの連携によるスポーツレガシーの継承・啓発プロジェクト実行委員会		スポーツミュージアムの連携によるスポーツレガシーの継承・啓発プロジェクト	8	補助金等交付	-	-	
2	地域共創協学ミュージアム活動基盤整備実行委員会		街づくりを先導するユニークベニューとしての大学博物館を核とした地域共創協学のミュージアム活動基盤整備事業	7	補助金等交付	-	-	
3	古代オリエントをたのしむ実行委員会		オンラインを中心としてつなげる古代オリエント文明・元氣プロジェクト	5	補助金等交付	-	-	